

# 町田市 セミのぬけがら調査 結果報告

町田市には、樹林地や公園、市街地など多様な環境があります。そこには、多様な生物が生育・生息しています。

町田市の自然環境の様子を知るために、市民の皆様の協力を得て、セミのぬけがらを調査しました。場所によって見つかったセミの種類に違いがありました。

調査にご参加いただいた方、暑い中ご協力いただき、ありがとうございました。ご参加をいただいた結果から、分かったことをご報告いたします。

ハスのんも探したのん!



## ●調査期間

2013年8月1日(木)～9月13日(金)

## ●調査地

金森・金森東・鶴間・小川・つくし野・南つくし野・成瀬・成瀬台・南成瀬・高ヶ坂・成瀬が丘



## ●調査の方法

セミのぬけがら(アブラゼミ、ミンミンゼミ、クマゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシの6種類)を探していただき、確認した数などを調査票に記入し町田市 環境・自然共生課に報告していただきました。

## ●調査の参加者 99人(団体も含む)

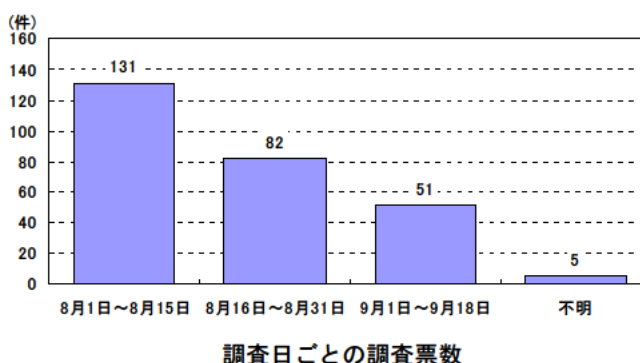
性別	男性 18人、女性 27人、不明 54人		
お住まい	調査箇所内 35人、調査箇所以外の町田市 7人 町田市外 5人、不明 52人		
年齢	9歳以下 6人	30代 3人	60代 8人
	10代 2人	40代 2人	70代以上 15人
	20代 4人	50代 6人	不明 53人

## ●調査の結果

### □調査日

調査票は、調査日、調査場所ごとに記入していただき、合計で269件でした。

半月単位(15日程度)でみると、8月1日～8月15日が最も多く調査報告をいただきました。



## □報告のあったセミのぬけがらの数

最も多くの報告をいただいたのは、アブラゼミで、次いでミンミンゼミという結果になりました。アブラゼミ、ミンミンゼミは、樹林地や公園、市街地など多様な環境で見られます。

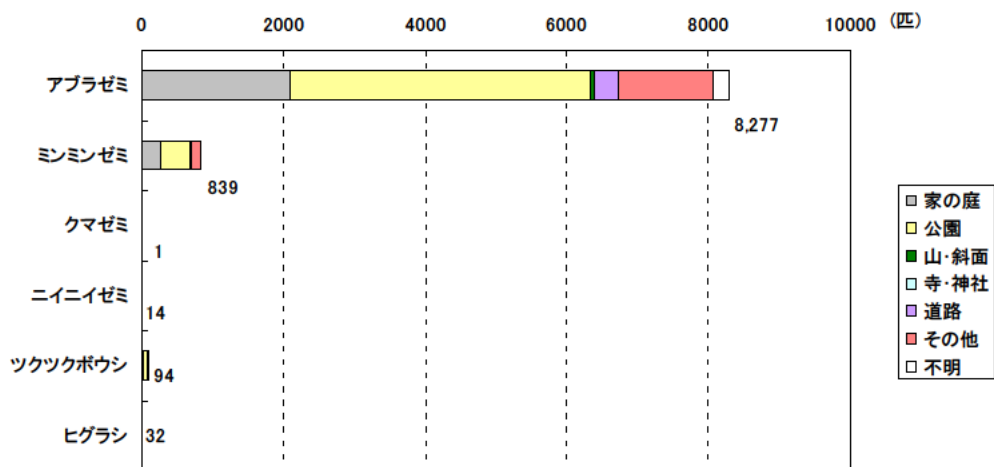
ツクツクボウシは、アブラゼミやミンミンゼミと同様に、樹林地や公園、市街地など多様な環境で見られると言われていています。今回の調査でも様々な環境での確認を報告していただきました。

ヒグラシは、薄暗いしめった環境を好み、調査地の樹林地、斜面で確認されると思われましたが、今回の調査では、公園での報告が多く占める結果となりました。これは、調査をしていただいた場所の環境が、樹林地、斜面に分類されるところが少なかったためと考えられます。

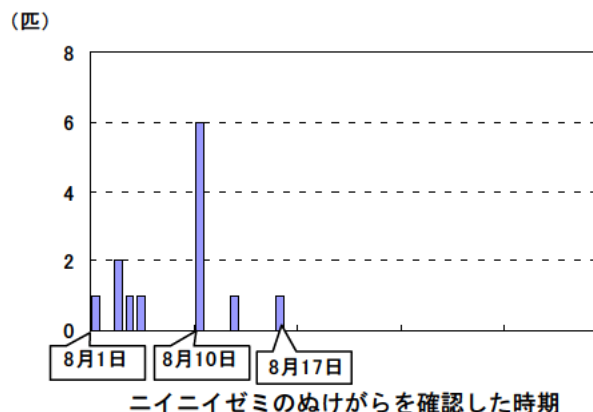
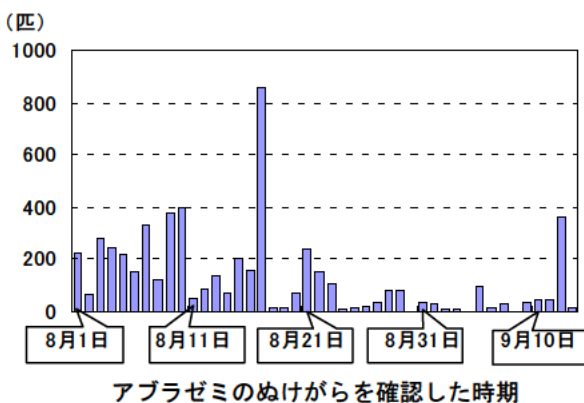
クマゼミは、もともと西日本を中心に分布していましたが、温暖化の影響により、植木等と一緒に土の中の幼虫が東京に移動ってきて、生息していると言われていています。今回の調査では、クマゼミだと思われるぬけがらについては市役所に持って来ていただくことになっていましたが、参加者から調査票での報告があったもので、市において個体は未確認です。

	アブラゼミ	ミンミンゼミ	クマゼミ	ニイニゼミ	ツクツクボウシ	ヒグラシ
家の庭	2,113	273	1	3	22	1
公園	4,231	406	0	11	48	12
山・斜面	29	5	0	0	3	0
寺・神社	0	0	0	0	0	0
道路	357	21	0	0	2	1
その他	1,346	129	0	0	15	18
不明	201	5	0	0	4	0
合計	8,277	839	1	14	94	32

回答が、複数の環境であった場合、それぞれの環境で計上。



今回、ニイニゼミの報告が少なかったのは、他のセミと比較すると早い時期に出現のピークを迎えるためではないかと考えられます。アブラゼミの報告は、調査期間の間、ほぼ途切れることなくありました。一方、ニイニゼミの報告は、8月17日まででした。



□報告のあったセミのぬけがら以外の報告

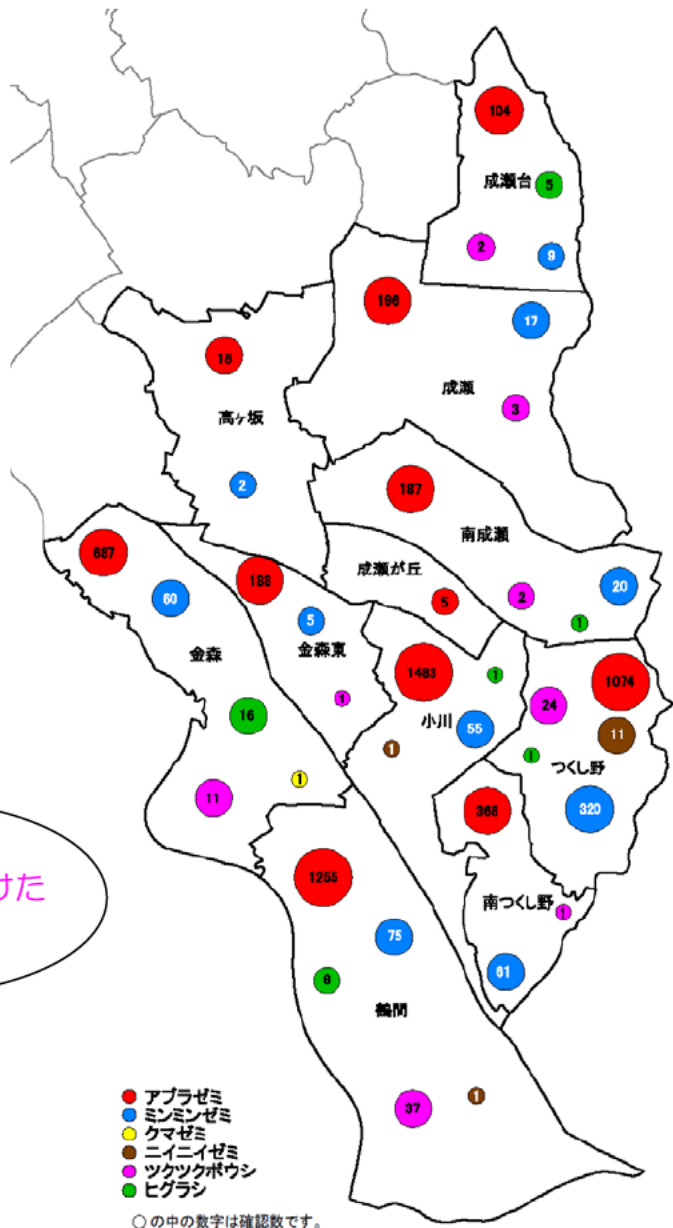
セミのぬけがら以外に、生きているセミや死んでいるセミ、鳴き声についても報告していただきました。ぬけがらと同様、アブラゼミの報告が最も多く、次いでミンミンゼミの報告を多くいただきました。また、クマゼミの鳴き声についても報告をいただきました。

□セミのぬけがらの確認報告のあった地域

今回の調査地は、市街地化が進んでいる地域であり、多くの地点でアブラゼミの確認報告がありました。今回の調査に参加された方からは、ツクツクボウシが以前より減っているように感じるという声が寄せられました。ツクツクボウシは、アブラゼミやミンミンゼミより確認報告数は少ない結果となりましたが、多様な環境で確認報告をいただきました。また、ヒグラシは、薄暗いしめった環境を好む種であり、広い面積の緑があり、ヒグラシが好む環境があると思われる成瀬台、金森、鶴間で確認報告がありました。

町名	アブラゼミ	ミンミンゼミ	クマゼミ	ニイニイゼミ	ツクツクボウシ	ヒグラシ
つくし野	1,074	320	0	11	24	1
金森	687	60	1	0	11	16
金森東	188	5	0	0	1	0
高ヶ坂	18	2	0	0	0	0
小川	1,483	55	0	1	0	1
成瀬	196	17	0	0	3	0
成瀬が丘	5	0	0	0	0	0
成瀬台	104	9	0	0	2	5
鶴間	1,255	75	0	1	37	6
南つくし野	368	61	0	0	1	0
南成瀬	187	20	0	0	2	1
その他	1,023	7	0	0	4	0
合計	6,588	631	1	13	85	30

表の数字はセミのぬけがらの確認数です。



セミのぬけがらの確認報告があった地域

●調査に参加した方からいただいた感想の紹介●

- ・毎年見ていましたが、ぬけがらがこんなにたくさんあると思っていませんでした。
- ・以前普通に見られた生物が現在では見られなくなったり少なくなったりしていることに気づかされました。
- ・子供たちも一緒に生き物について楽しく学べたと思います。 など